

1. この山と森の6つの特徴

- 特徴的な石灰岩の山の姿
とがった山並みは、一帯のランドマークになっています。
- 生活で利用された人里の森
50年ほど前は、木材や薪などを採ったり、山畑に利用されていました。
- 延々と巡る猪垣(ヤマシシガキ)
琉球王府時代から築かれてきた猪垣が稜線に沿って巡ります。
- 人の手を離れ森になった
近代化によって山が使われなくなり、森に覆われていきました。
- 自然とふれあえる森へ
今では自然とふれあいながら、生活の歴史を学べる場となりました。
- 散策道で森の中に行く
散策道が整備され、森を歩きながら、生きものとの出会いを楽しめます。



ボウジムイ



山中を巡る猪垣



散策道で自然観察

2. 山の成り立ちと植物の魅力

- 約2億数千万年前に…
約2億数千万年前に南の海から運ばれてきた古い石灰岩の地層によってできています。その下の基盤は、約1億年前に大陸から運ばれてきた、泥や砂が固まってできた地層です。プレートの移動にもなって、新しい地層の上に古い地層が乗ることになりました。
- 石灰岩地の植物たち
全体が石灰岩地の植生で覆われており、ヤブニッケイ・ホルトノキ群落、アマミアラカシ・クロツグ群落などが見られ、ガジュマル、ホルトノキ、アカギなどの大樹も茂っています。
- 石灰岩地以外の植物たちも
非石灰岩地植物であるツバキが多く群生しており、イタジイの大木やクスノキの植林地もあります。



岩山の端部にある六田山(むたやま)



ガジュマル



ツバキ



イタジイ

3. 生きものたちとの出会い

- 貴重な生きものたちが棲む
天然記念物のリュウキュウヤマガメ、イボイモリなどの爬虫類・両生類が棲み、留鳥ホントウアカヒゲが姿を見せたり、夏にはリュウキュウアカショウビンがよく囁ります。
- 散策道での出会い
夏を中心にチョウやセミたちが道を賑わしてくれます。コノハチヨウやイシガケチョウ、アゲハチョウが舞い、クロイワニイニヤオオシマゼミなどが鳴き続けます。最大の哺乳類リュウキュウイノシシも棲息しています。
- ハブやヒメハブも棲む
杖で草を叩きながら歩けば逃げていくこともありますが、岩の上などにいる場合など、予期せぬ出会いに注意をしましょう。



アカショウビン

ホントウアカヒゲ



イシガケチョウ

リュウキュウイノシシ



オオシマゼミ

ハブ

4. 人里の森と猪垣(ヤマシシガキ)

- 琉球王府時代からの林業地帯
大宜味間切りの仕立敷(造林地)は楠・杉・胡桃・榎など盛んで、山畑も広く、人里の森でした。
- 薪や炭や用材の供給地
明治時代以降、昭和も戦後まで薪炭と用材の供給地でした。
- 山畑を守る猪垣
王府時代、山畑に栽培された芋などを猪の害から守るため延々と猪垣が築かれました。
- 石灰岩の山に今も残る猪垣
森や山畑も人の手を離れましたが、石積の猪垣は今に残りました。



山の斜面に段々畑が見える昔の集落風景



良好な状態で残る炭焼窯



今もなお残る猪垣(村指定文化財)

大宜味の石灰岩の山と森

ネクマ〜六田山散策道

ウォーキングガイド



大宜味の石灰岩の山と森 散策道ウォーキングマップ

森の中を巡る散策道にはたくさんの出会いが待っています。大自然の中に棲む生きものたちや、今も姿を残す歴史の足跡。そんな出会いをあなたも体感してみませんか？ さあ、地図をとっていざ出発！



ぶながや広場ルート

中央にある登り口からぶながや広場を経てクガニ岳、ポウジムイ方面を目指すルートです(上り150m)。塩屋富士方面へも行ける中継ルートとなります。

- ぶながや広場は森とのふれあいを楽しむ空間。森の精ぶながやも出てきてくれそうな明るい森です。
- クガニ岳は手近な眺望地点で山並みの真ん中にあることが判ります。さらに大樹の続く森を歩いてポウジムイへ。

※距離: 1.2km(ポウジムイまで) 所要: 約1時間半



塩屋富士ルート

六田山登り口から六田山を経て塩屋富士を目指し、さらにクガニ岳とぶながや広場、ポウジムイ方面につなぐルートです(上り100m)。

- ルートに沿っていろいろなタイプの猪垣(ヤマシガキ)が続きます。
- 中間点の塩屋富士は大きな山容。所々で塩屋湾を望みツバキも群生しています。
- 六田山の岩場や大ガジュマルなども見所です。

※距離: 2.0km(ぶながや広場登り口まで) 所要: 約2時間半



猪垣の説明板

ポウジムイ

標高309m

クガニ岳

標高280m

塩屋富士

標高317.4m

六田山登り口

六田山

大ガジュマル

炭焼窯跡

ネクマ西園地

イギミハキンゾー登り口

中登り口

ネクマ上登り口

ネクマチヂ岳

標高360.7m

チキガンドウ岩屋

ボウジムイルート

全体を中心となるイギミハキンゾーの広場からポウジムイの岩山を目指すルートです(上り60m)。

- ツバキの群生地を経て、チキガンドウの岩屋へ。
- ツバキの群生地や石灰岩の森が続く、ルートを代表する眺望地点ポウジムイに至ります。海や山の眺めが広がります。

※距離: 0.7km 所要: 約1時間

ネクマチヂ岳ルート

ネクマ上登り口から頂上尾根に登り、人里の森の姿を楽しみながら回るルートです(上り60m)。

- 頂上尾根からやんばるの山並みと海の広がりを望めます。
- 尾根筋には花形の良いツバキの咲く群生地が続きます。山腹には炭焼窯跡も残っていて人里の森を体感できます。

※距離: 0.9km 所要: 約1時間
中登り口ルートを使うと最短30分の往復も可。

あなたの発見募集中!

散策道を歩いて、知らせたい発見をした方は教えてください。発見情報として記録させていただきます。

大宜味村役場企画観光課 0980-44-3007まで

マナーを守ろう!

- 1 安全第一**
歩きやすい靴を履いて、長袖・長ズボンで。
- 2 森をきれいに!**
ゴミは必ず持ち帰りましょう。トイレなどの施設はキレイに。
- 3 生きものに優しく**
植物や動物は採らない。

もしもの時は...

- 大宜味村役場: 0980-44-3001
- 国頭地区消防本部: 0980-41-5100 まで

